



伝統と実績のある明治大学で  
裁判官・検察官・弁護士を目指そう！



# 明治大学 法制研究所

2024年度 法学学習支援・各種試験対策講座

ガイダンス開催  
講座説明会

法制研究所・辰巳法律研究所 共催

開催日

4月8日(月)

時間

11:30~12:30

場所

明治大学 和泉キャンパス  
メディア棟3階  
M301教室





# 「権利自由、独立自治」の担い手に

学長

## 上野 正雄



明治大学は、143年前に創立された法律学校にその歴史を發します。江戸時代が終わってほんの10数年しか経っていない1881年です。この時期に、「権利自由、独立自治」を旗印に私立の法律学校を立ち上げた20代の3人の創立者達の心意気の高さを想像してみてください。その心意気の中には、明治維新後もなお権利自由も、独立自治も不十分であり、これからそれを追求していかなければならないという使命感があったんだらうと私は思っています。さて、それから143年が経過した現在、日本の、そして世界の「権利自由、独立自治」は既に実現され、完成されたでしょうか。否です。この間、今に至るまで非常に多くの粘り強い努力や悲惨な犠牲がありました。依然として実現できていません。しかし、放棄することはできません。人間社会が存する限り、日本国憲法がいうように「不斷の努力によって、これを保持しなければならない」(12条)のです。明治大学も創立以来、この「権利自由、独立自治」を建学の精神として営々と引き継ぎ、それを実現すべく、存在しています。

明治大学は、これを「個人の権利や自由を認め、学問の独立を基礎として自律の精神を養う重要性を示したもの」と理解していますが、これは、権利自由の自律的な主体である一人ひとり、つまり多様な「個」の尊重と不可分の関係に立ちます。その中で、明治大学は、例えば、女性が法曹界から排除されていた時代に、女性に門戸を開き、日本初の女性弁護士となった久米愛、三淵嘉子(日本初の女性裁判所長)、中田正子を輩出しました。皆さんにも、それぞれが日本や世界の現状を知る一人の大人として、そして、明治大学の学生、卒業生として「権利自由、独立自治」の実現、多様な「個」の尊重に向けて、それぞれの場で活躍をしていただきたいと願っています。

さて、法曹です。裁判官、検察官、弁護士は、「権利自由、独立自治」の実現、多様な「個」の尊重に向けて、端的にコミットできる職業だと思います。私自身の裁判官、弁護士の経験からしても、具体的な事件、具体的な人に直接関わるということは、自分の主体的な活動の結果が良くも悪くも直ちに現れることであり、非常に遣り甲斐を感じられる、そして刺激的なことだと実感しています。是非、まずは、興味を持っていただきたいと思っています。

明治大学では、法曹を志望する学生、卒業生を支援するために、法制研究所という大学直属の教育機関を設置しています。ここでは、法学部等の教員や現役の弁護士達が中心となって、全学部の学生を対象に、合理的なスケジュールの下で、親身な指導が行われ、毎年多くの司法試験、司法試験予備試験、法科大学院入学試験の合格者を輩出しています。法曹に興味を持ったら、半世紀前の私のように、是非、法制研究所の戸を叩いてみてください。それが、皆さんの人生が変わり、社会が変わるきっかけになるかも知れません。皆さんの人生に、皆さんが生きる将来の社会に、幸多かれ。

# 法制研究所で法的思考力を身につける

法制研究所長

## 有賀 恵美子



法制研究所の歴史は古く、わが明治大学出身の法曹であれば、その多くが法制研究所に在籍し、また在籍しないまでも何らかの形で法制研究所との関わりを持った経験があると思います。もともと、その長い歴史の中で、法制研究所による受験サポートにも変化したところがあります。既に30年近く前のことになりましたが、辰巳法律研究所との提携講座の開始です。司法試験で必要とされるのは、基本的な法律知識を前提とした上での法的な理解力、思考力、判断力であるところ、法制研究所に入れば、1・2年次に基本7科目の入門講座を受講することにより、その後の土台となる基本的知識を一通り修得することができます。学んだ内容を反復・確認するために、短答式テストをはじめとするOption講座も用意されており、しかもこれら全てを和泉キャンパスで受講できることも提携講座ならではの魅力です。

他方で、昔から変わらない法制研究所によるサポートの特長は、本学出身の弁護士や司法試験合格者が指導するゼミや添削です。司法試験で問われているのは、知識の有無自体ではありません。司法試験法でも、その評価においては、知識を有するか否かの判定に偏ることなく、法律に関する理論的かつ実践的な理解力、思考力、判断力等の判定に意を用いなければならぬことが明記されています。知識は多いほうが思考が広がりやすくなる面があることは否めませんが、理解を伴わない知識はかえって思考の妨げになります。しかし、特に初学者の頃は、講義を受け身で受講して一人で思考しているだけだと、自分がその知識を本当に理解しているのかどうか、そもそも理解するとはどういうことなのかにも気付かないことがあります。法制研究所の指導員による少人数のゼミに参加して思考訓練を重ね、答案練習でアウトプットの訓練とそのフィードバックを受けることにより、自分が知っていると思いきりでいた曖昧な知識について、正しく理解して思考を深めることができます。しかも、分からないことも気軽に質問できる環境が整っているのです。みなさんと同じ本学出身の指導員による親身な指導により、理解を積み重ねて思考を深めることができること、これが法制研究所の最大の強みです。

司法試験に向けてどのように勉強してきたかということは、どのような法曹になるかということに直結していると思います。また、法曹以外の道を選択する場合であっても、それまでの思考訓練はみなさんの今後の糧になります。法制研究所のサポートを積極的に活用して、みなさんの今後の人生に役立てて下さい。

# 司法試験とは

現在の司法試験は、法科大学院が設立されたことを背景に、2006年から「新司法試験」として実施されてきたものです。2011年まではそれまでの「旧司法試験」も重複実施されていたため、「新」「旧」として区別してきましたが、「旧司法試験」が無くなった現在は「司法試験」とのみ表記されます。司法試験法をはじめとする司法試験関係法令によって規定された試験です。司法試験を受けるためには、法科大学院に入学して修了\*、あるいは予備試験に合格しなければなりません。司法試験に合格するために、法制研究所ではステップに応じた様々な学習支援プログラムが用意されています。詳しくは3ページ以降のモデルコースをご覧ください。

\* 法科大学院に在学する者であって、一定の要件を満たした者も含む

## 司法試験の目的

司法試験は、裁判官、検察官又は弁護士となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定する試験であり、法科大学院課程における教育及び司法修習生の修習との有機的連携のもとに行うものとされています。

## 司法試験の方法

司法試験は、短答式及び論文式による筆記の方法により行われます。司法試験の合格者の判定は、短答式による筆記試験の合格に必要な成績を得た者につき、短答式による筆記試験及び論文式による筆記試験の成績を総合して行われます。短答式試験と論文式試験は同時期に行われ、受験者全員が両方の試験を受けることになります。なお、口述試験は行われません。

## 司法試験の試験科目

短答式試験	一 憲法
	二 民法
	三 刑法
論文式試験	一 公法系科目 (憲法、行政法)
	二 民事系科目 (民法、商法、民事訴訟法)
	三 刑事系科目 (刑法、刑事訴訟法)
	四 選択科目 (労働法、倒産法、知的財産法、経済法、環境法、租税法、国際関係法(私法系)、国際関係法(公法系)のうち1つを選択)

論文式試験		短答式試験	
1日目	2日目	3日目	4日目
論文式 選択科目 3時間	論文式 民事系 2+2+2時間	論文式 刑事系 2+2時間	短答式 民法 1時間15分
論文式 公法系 2+2時間			短答式 憲法 50分
			短答式 刑法 50分

## 司法試験の受験資格

司法試験は、法科大学院を修了した者\*1、あるいは予備試験(正式名称は「司法試験予備試験」)に合格した者で、受験期間は法科大学院課程の修了の日\*2又は予備試験の合格発表の日後の最初の4月1日から5年間です。

\*1 法科大学院に在学する者であって、一定の要件を満たした者も含む

\*2 法科大学院に在学中に受験した者は、最初に受験した日の属する年の4月1日

# 司法試験予備試験とは

予備試験とは、司法試験を受けようとする者が法科大学院修了者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とし、短答式及び論文式による筆記並びに口述の方法により行うものとされています。一般教養科目があること、短答式試験に合格→論文式試験に合格→口述試験に合格と段階的に試験が進む点に特徴があります。

- 短答式試験 憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、一般教養科目
  - 論文式試験 短答式試験に合格した者につき、一般教養科目を除く短答式試験の科目のほか、法律実務基礎科目、選択科目について実施されます。
  - 口述試験 論文式試験に合格した者について、法律実務基礎科目について行われます。
- \*最新の試験科目、日程については、法務省のホームページにてご確認ください。

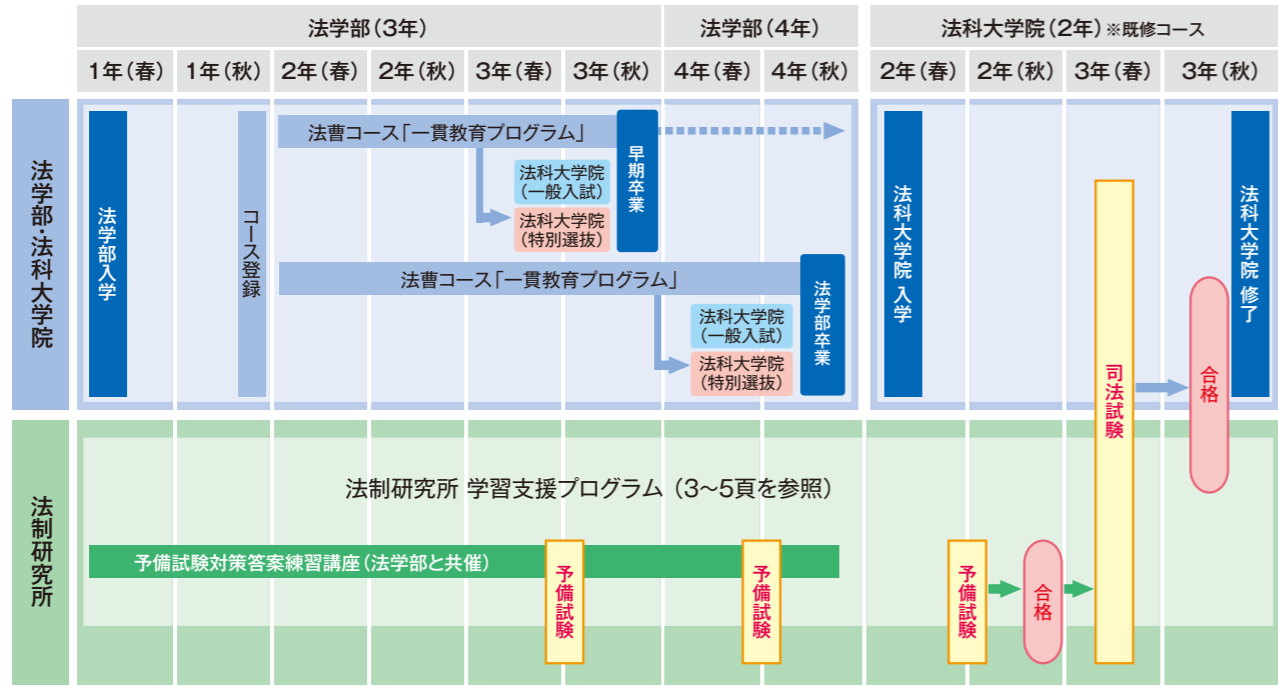
予備試験対策答案練習講座(法学部と共催)を開催します。詳しくは6、8ページをご覧ください。

# CONTENTS

司法試験とは	1
学習支援プログラム	3
和泉研究室 入室のご案内	6
駿河台研究室 入室のご案内	8
1年目入門講座	
憲民刑入門講座	10
2年目入門講座	
商訴行政入門講座	12
夏期Option講座	14
法制研究所室生	
OB・OGからのメッセージ	15
和泉研究室	
室生からのメッセージ	16
法制研究所 入会手続	裏面



# 法曹を目指すためのステップ



## 裁判官・検察官・弁護士以外を目指す人にも・・・ 憲法・民法・刑法が試験科目に含まれている主な資格・採用試験

※詳しくは法務省・裁判所のホームページを参照してください。

### 司法書士試験

司法書士とは、登記、供託に関する手続を代理することや、裁判所や法務局に提出する書類を作成すること、簡易裁判所での一定の訴訟について代理をすること等を業とする国家資格です。

司法書士試験では、民法、商法(会社法その他の商法分野に関する法令を含む)、憲法及び刑法に関する知識に加え、不動産登記及び商業(法人)登記に関する知識などが試験内容となっています。

### 裁判所職員採用試験

裁判所事務官は、裁判所職員総合職試験・一般職試験により採用されます。これらの試験では、憲法・民法・刑法が出題内容の一部となっています。

家庭裁判所調査官は、裁判所職員総合職試験(家庭裁判所調査官補区分)に合格し家庭裁判所調査官補として採用後、裁判所職員総合研修所家庭裁判所調査官養成課程を修了することで任命されます。裁判所職員総合職試験(家庭裁判所調査官補区分)では、心理学、教育学、福祉、社会学等とともに、憲法・民法・刑法が出題内容の一部となっています。

### 裁判所事務官・裁判所書記官

裁判所は、裁判官以外の職員として裁判所事務官を採用しています。裁判所事務官は、各裁判所の裁判部と事務局に配属され、裁判部では裁判所書記官のもとで裁判事務に従事し、事務局では司法行政事務全般(人事・総務等)に従事します。裁判所事務官として一定期間勤務し、試験に合格し研修を受けることで裁判所書記官としての資格を得ることができます。裁判所書記官は、法律の専門家として調書の作成等の固有の権限を有します。

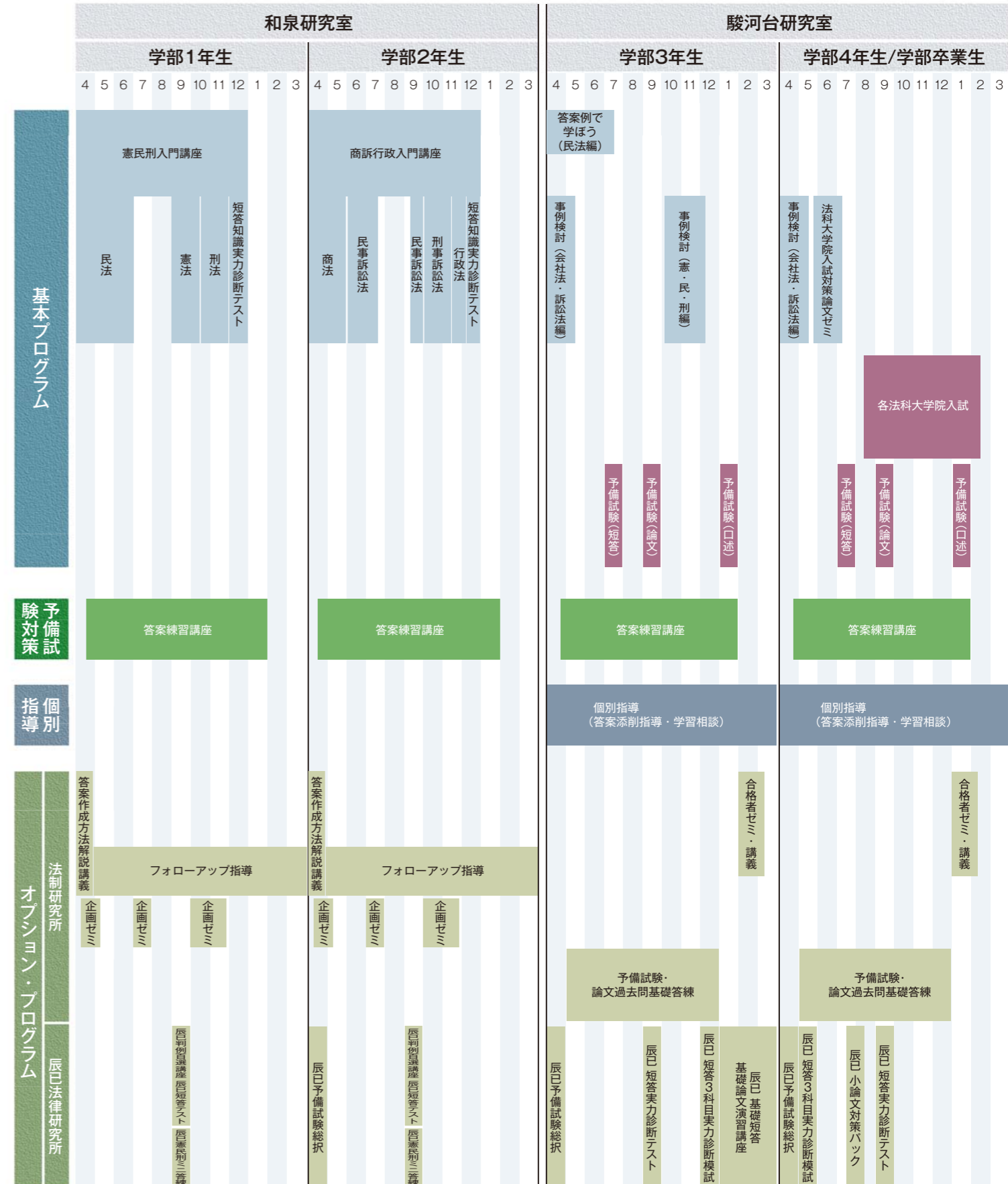
### 家庭裁判所調査官

家事審判や人事訴訟等によって家庭に関する問題を適切に解決し、非行を犯した少年に対して妥当な処分を決定するためには、法律論のみならず、背景となる人間関係や環境を十分に考慮することが必要です。これら審判調停に必要な事項(紛争・非行の原因や生活環境)の調査を行う家庭裁判所の職員が、家庭裁判所調査官です。

# 法制研究所 学習支援プログラム

## 4年卒業コース

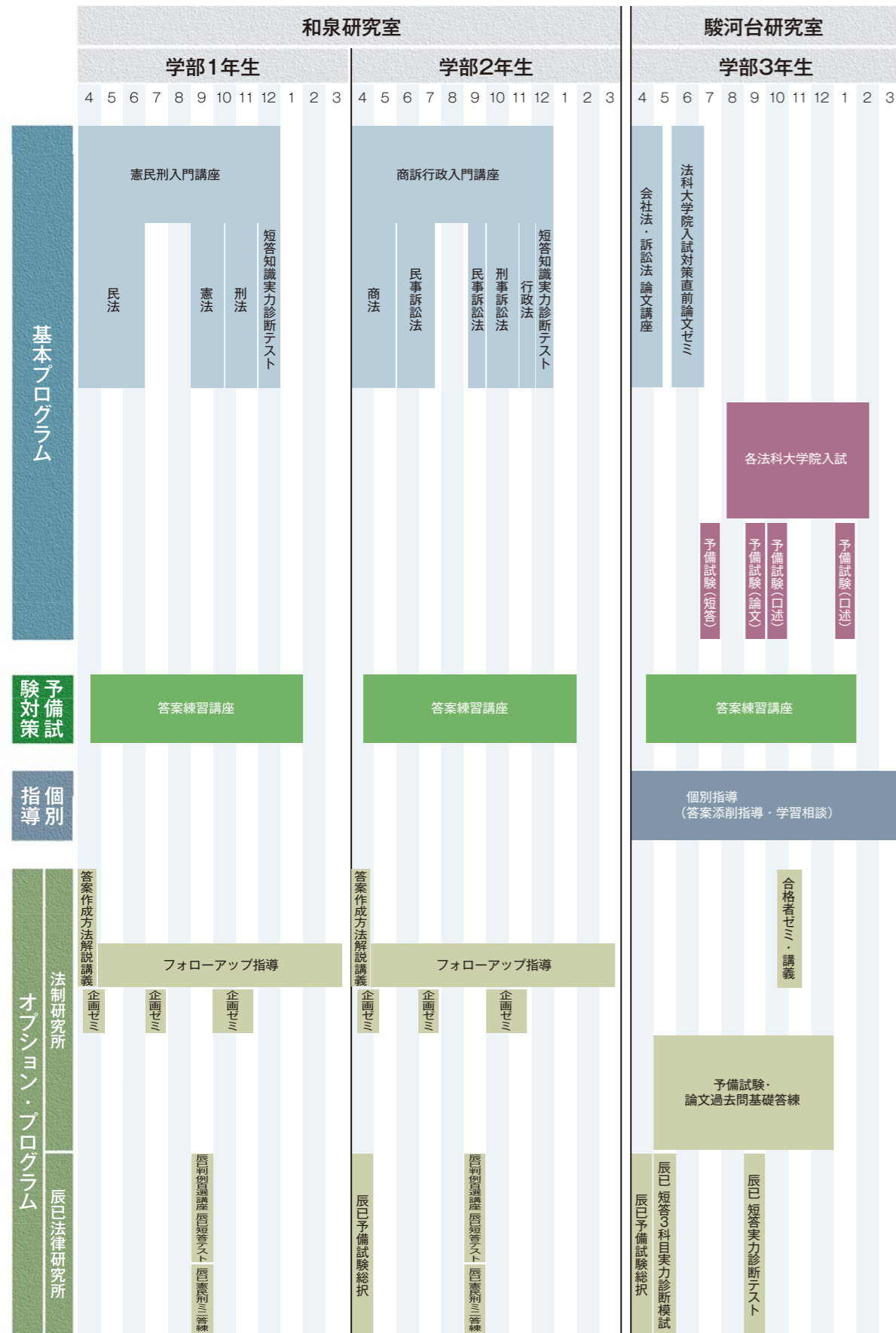
※プログラムは必要に応じて変更されることがあります。



※辰巳法律研究所のオプション・プログラムの実施時期は2023年度実績です。

## ■ 早期卒業希望者コース

※プログラムは必要に応じて変更されることがあります。



### 3年次早期卒業制度 を利用しよう！

明治大学法学部では成績が特に優秀な学生を対象とした早期卒業制度があります。法科大学院・大学院・専門職大学院への進学を希望する学生は、3年次修了時に大学卒業資格(学士)を得て進学することが可能です。早期卒業制度は、少しでも早く法律実務家になることを目指す方には絶好のチャンスです。

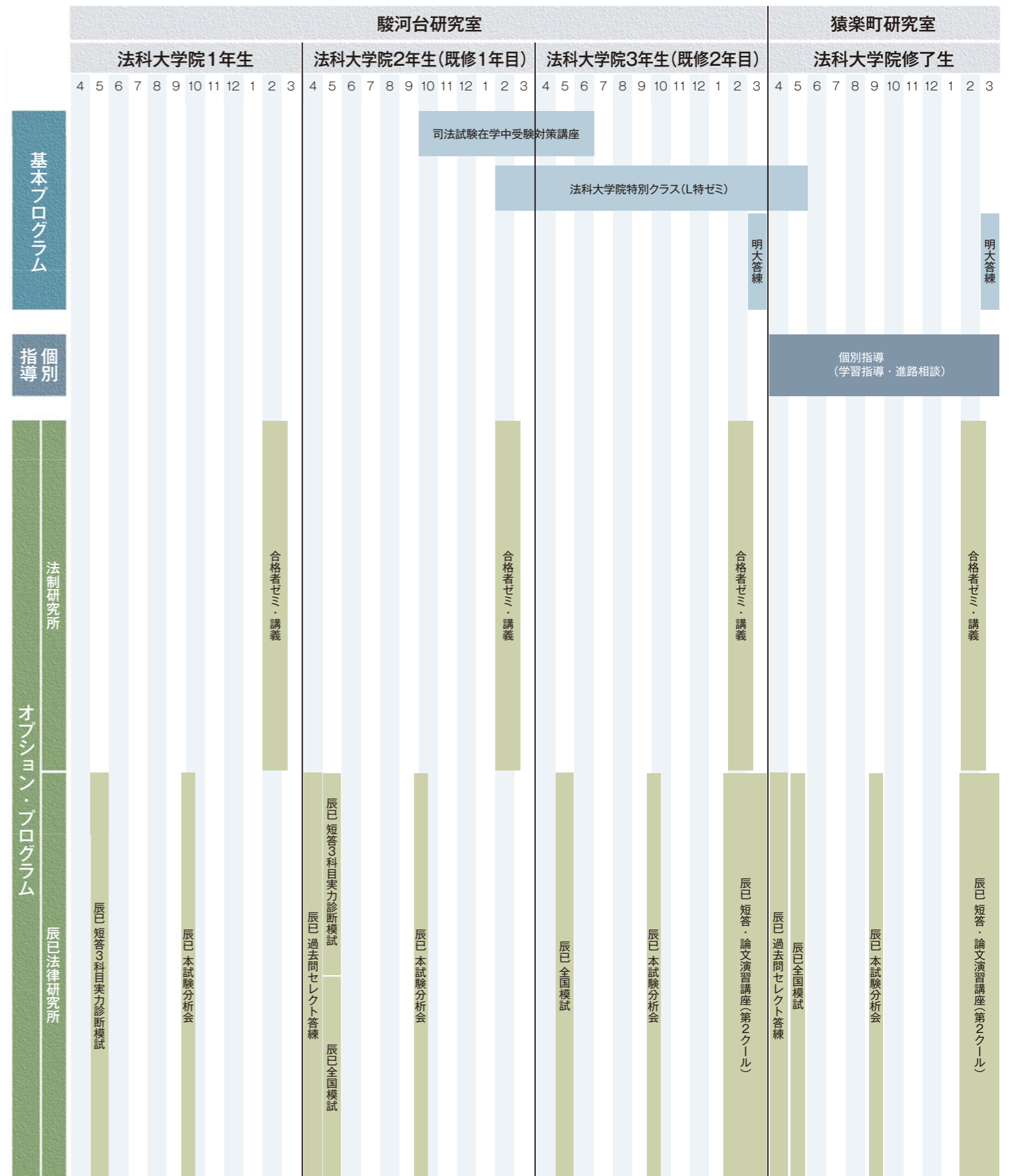
### 法曹コース 「一貫教育プログラム」

2020年4月から法曹コース制がスタートしました。この制度は法学部と法科大学院が連携して一貫した体系的な法曹養成教育を実施するもので、最短で、法学部を3年で早期卒業、法科大学院(既修)に進学し2年で修了することが可能です。また、一定の要件を満たすと、法科大学院在学中に司法試験を受験することが可能です。明治大学法学部は、これまで設置されていた5コース制のうちの「法曹コース」内に「一貫教育プログラム」を設置することで、上記の法曹コース制度を実現しました。2023年4月現在、明治大学法学部は、明治大学法科大学院のほか、慶應義塾大学法科大学院および中央大学法科大学院と連携協定を締結しています。従来の早期卒業制度のみを利用して法学部を3年で卒業し法科大学院の一般入試を受験することも可能ですが、法科大学院の入試試験で法曹コース修了者向けの「特別選抜」を受験するためには、法曹コースに経ている必要があります。その他、「一貫教育プログラム」の詳細については、法学部から配付される資料等を参照してください。

### 法科大学院入試とは…

各法科大学院で実施される入学試験で、修業年限2年の法学既修者コースと、修業年限3年の法学未修者コースがあります。試験内容および実施方法は各法科大学院により異なりますが、法学既修者コースの場合、法学の基礎学力の有無を判定する試験が重視されます。法学未修者コースの場合、小論文試験や面接試験がメインになります。

※プログラムは必要に応じて変更されることがあります。



※辰巳法律研究所のオプション・プログラムの実施時期は2023年度実績です。

※辰巳法律研究所のオプション・プログラムの実施時期は2023年度実績です。



# 和泉研究室 Izumi Laboratory

## ■ 法制研究所和泉研究室とは

法制研究所は、法科大学院進学・司法試験および予備試験受験を目指す本学の学生のために、若手弁護士を中心とした後進指導、各種の講座の実施および自習室などの学習環境の提供などを行っています。

そして、法制研究所和泉研究室は、学部1・2年生のために、若手弁護士等による指導および辰巳法律研究所との提携講座の実施並びに自習室等を提供します。学部における法学学習を支援するだけでなく、法科大学院進学や予備試験受験に向けた基礎的理解ができるようにバックアップします。

## ■ 和泉研究室に入室するメリット

法科大学院進学、予備試験受験ひいては司法試験受験に向けた勉強の拠点として、勉強に専念できる環境を整備しています。また、法科大学院進学や予備試験受験・法曹を志す学生が集まり、緊張感を持って切磋琢磨する環境に身を置くことで勉強の質・量双方を確保できます。さらに若手弁護士等による指導を受けることは、法的理解を深め、実践的な能力を身につけるためにも大変有益です。法科大学院進学や予備試験受験・法曹という同じ道を志す同士が交流する機会があり、法科大学院進学・予備試験・司法試験に関する情報を共有できるとともに、一生の財産ともいえる仲間も増えることでしょう。

## 入会・継続手続と費用

裏表紙をご参照ください。

## 和泉研究室主催の主な指導予定企画

### 1 講義 答案作成方法解説講義、答案作成方法解説講義（基礎編）

**概要**：答案の書き方やそれを踏まえた普段の学習方法に関する総論的な講義を行います。学習の初期段階や答案の書き方に迷った段階で受講することにより、学習方針を明確にすることができ、その後の学習に役立ちます。

**対象**：1年生、2年生  
**実施日程**：春学期  
**講義形式**：事前録画・配信型

### 2 講義・演習 フォローアップ指導

**概要**：1年生の皆さんは初めて法律を学び始め、2年生の皆さんは会社法等新たな法律を学び始め、不安や戸惑いなどあるかと思えます。フォローアップ指導を担当する本学出身の弁護士指導員は皆、皆さんと同じ悩みを抱え、その都度、先輩合格者にアドバイスを求め、司法試験の合格に辿りついています。アルバイトと勉強の両立をどうしていくべきか、勉強方法が分からない、この論点が難しく改めて解説をしてもらいたいなど、皆さんが抱える全ての不安、疑問に寄り添うべく、フォローアップ指導があります。皆さんの悩みに合わせたサポートを目的として各種講義、ゼミ、その他の指導を用意しますので、ぜひ、ご活用ください。お一人での受講には抵抗があるなどの場合には、ご友人と一緒に受講されても結構です。

**指導内容例**：個別論点の解説、ロースクール入試・予備試験等の論文問題解説、勉強方法、問題の解き方の解説等。  
 ※過去の実施講座等に過ぎないため、本年度は内容が変わる可能性があります。

**対象**：1年生、2年生  
**実施日程**：各企画の開催時期による  
**講義形式**：zoomまたは対面

### 3 予備試験対策答案練習講座（法学部と共催）

**概要**：予備試験の論文試験対策を中心として、受講生による答案作成、本学出身の弁護士・司法修習生等による答案・添削指導を行います。「憲法・民法・刑法」を中心としたクラスと「商法・民訴法・刑訴法・行政法」を中心としたクラスを設置する予定です。

**対象**：1年生～4年生  
**実施日程**：4月から1月  
**その他**：詳細は「2024年度法学部・法制研究所共催 予備試験対策答案練習講座実施要領」を参照してください。

### 4 その他

好評の企画ゼミ（明大生の事件簿）や、受講生のニーズに応じた、講師の企画によるゼミ等を実施予定です。

## 入室特典

- 弁護士指導員・司法試験合格者指導員による上記の和泉研究室主催講座を受講できます（原則無料）。
- 自習室、図書が無料で利用できます。
- 自習室の個人ロッカー（鍵付）を無料で利用できます（先着順）。
- 辰巳法律研究所との提携講座（詳しくはP10～P14）を割安で受講できます。
- 室員同士の親睦を深める場として、レクリエーション等を行う交流会の開催を予定しています。
- 司法試験予備試験・予備試験短答式試験に合格した学部生に対して報奨金を授与します（受験時かつ合格時に法制研究所に在籍など授与条件あり）。

## ■ 施設内容



### ● 自習室

自由席制の自習室（無料）があります。土日休日を含め利用できます（閉室日については掲示にて告知します）。



### ● 図書

学習に必要な最新版の基本書・参考書・問題集、その他雑誌や読み物が配架されており、室生は自由に利用できます。

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各施設の使用を制限する場合があります。

## Q1 question 1

法科大学院進学、予備試験受験を考えているのですが、1年生から勉強を始めないとだめでしょうか？

**大学1年から憲法・民法・刑法の勉強を始める必要があります。**

法科大学院に未修者として入学すると、憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法の基本7科目の知識を短期間で習得しなければなりません。応用科目、発展科目、実務科目など、学習する負担は大変大きいものとなります。また、既修者の場合、基本7科目を習得していることを前提に講義が行われます。そのため、学部時代に7科目の基礎知識と論文作成力を身につけておくことが求められます。また基本7科目は予備試験の試験科目になっています。この負担は大変に重いので、大学1年から憲法・民法・刑法を開始する必要があるのです。

## Q2 question 2

大学の勉強と両立できますか？

**法学部の授業を先取りするところもあり、両立はもとより、役立ちます。**

法学部の期末試験は、基本的に法科大学院入試や司法試験および予備試験と同じ方向を向いています。入門講座の勉強は大学での期末試験の準備を進めているようなものです。入門講座を受講すれば、大学の授業との相乗効果で法律学の理解が促進されます。しかも、大学内の教室で実施されますので、受講料は安く、予備校に通う場合の通学時間や交通費も必要ありません。また、学年に対応したさまざまな和泉研究室主催の無料・割引講座があり、基礎力を固め、目標に向かって実践的かつ応用的な能力へと高められるように様々な形で室生をバックアップします。

## Q3 question 3

一般的な予備校の講座と、法制研究所の入門講座はどこが違うのですか？

**最終合格を見据えたカリキュラムがあり、何よりも仲間そして合格者の先輩がいます。**

入門講座は、実施する曜日や夏休みなど、明大生の学内活動サイクルを基準にしてカリキュラムを組んであり受講しやすくなっています。駿河台研究室へ着実に段階を踏めるようになっているのです。また、近くに同じ目標を持った仲間がいて一緒に勉強をする機会は、何よりも得難いと思います。さらに法制研究所では、多くの合格した先輩が後輩のために指導役を買って出てくれています。このような環境は予備校では得られません。

## Q4 question 4

法学部生ではありませんが…受講できますか？

**明大生であれば学部・学年の前後を問わず、誰でも受講できます。**

法制研究所では広く門戸を開放しています。ですから、学部が違ってやる気のある明大生にはぜひ参加してもらいたいと思います。法学部生より法学に触れる時間が短い分大変ですが、少しでもよいから毎日法律に触れるように意識的に勉強をしてそれを乗り越えた学生もいます。法科大学院入試・予備試験に限りませんが、主体的な勉強こそが成果を生み、合格を生むのです。「裁判官、検察官、弁護士」を目指して一緒に頑張りましょう。

## Q5 question 5

進路がまだ決まってないのですが法制研究所に入室できますか？

**はい。入室できます。**

和泉研究室での講座やゼミ、仲間たちとの交流は、進路について具体的なイメージを形作るうえでも役に立つものとなるでしょう。また憲法・民法等の科目は、司法書士や裁判所事務官等の進路を目指すうえでも必須の知識となります。※学部卒業生は卒業後4年以内であれば入室可能です。



# 駿河台研究室 Surugadai Laboratory

## ■ 法制研究所駿河台研究室とは

法制研究所駿河台研究室は、法科大学院進学・予備試験・司法試験合格を目指す学生のために、各種講座の実施及び自習室等の学習環境の提供などを通じて、合格のサポートをする機関です。学部の講義や自学自習で培ってきた法律の基本的素養を、より実践的・応用的な能力へと高め、在籍する室生が真に実力を備えた法曹になれるようバックアップしています。

## ■ 駿河台研究室に入室するメリット

3年生以上の勉強の拠点として、勉強に専念できる環境を整備しています。法科大学院進学・予備試験・司法試験合格・法曹を志す学生が集まり緊張感を持って切磋琢磨する環境は、勉強の質・量双方の確保に大変有益です。また、同じ道を志す者同士が集まることにより、情報戦の側面も持つ法科大学院入試・予備試験・司法試験に向けてより多くの情報を互いに提供しあえる、一生の財産ともいえる仲間も増えることでしょう。また、本学出身の若手弁護士等が後進の指導にあたりますので、より実践的な能力を身に付けることができます。

### 入会・継続手続と費用

<b>入会費</b>	新規のみ	10,186円	(税抜9,260円)
<b>年会費</b>	在学学生	1年／5,093円	(税抜4,630円)
	学部卒業生	半年／7,639円	(税抜6,945円)
		(修了生は別途お問い合わせください。)	
<b>席料</b>	在学学生	半年／10,186円	(税抜9,260円)
	学部卒業生	半年／15,277円	(税抜13,889円)
		(修了生は別途お問い合わせください。)	

**申し込み事務手続**

「申込書」に必要事項を記入の上、「振込受領書」のコピーを添えて法制研究所事務局(駿河台)に提出、またはメール添付もしくは郵送にて申込手続をしてください。「申込書」は希望される方にはメールにて送付します。申込受付は随時です。新規の方は入会手続、現在在室生、またはかつて在籍された方は更新手続において、所定の席料を払い自習室固定席を利用できます。

※法学部在学学生には所属学部より年間上限15,000円、政治経済学部在学学生には所属学部より年間上限20,000円の助成があります。上記以外の学部においても助成対象になる場合がありますので、所属学部事務局にお問い合わせください。

※学部卒業生の方は入退館カードのデポジット料5,000円が別途必要になります。

※学部卒業生の方は卒業後4年以内であれば入室可能です。

※自習室の固定席は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため使用日時を限定する可能性があります。

### 駿河台研究室主催の主な指導予定企画

下記の企画は、対面またはオンラインにて実施します。実施形態については別途お知らせいたします。

#### 1 事例検討(会社法・訴訟法編)

**概要**：論文作成の基本的な考え方や基本論点の習得を目標にします。弁護士指導員が少人数の受講生を指導します。

**対象**：4年生、学部卒業生(3年生応相談)

**実施日程**：3回(会社法・民事訴訟法・刑事訴訟法各1回)  
1回当たり答案作成・解説の計3時間  
4月から5月

#### 2 予備試験対策答案練習講座(法学部と共催)

**概要**：予備試験の論文試験対策を中心として、受講生による答案作成、本学出身の弁護士・司法修習生等による答案・添削指導を行います。「憲法・民法・刑法」を中心としたクラスと「商法・民訴法・刑訴法・行政法」を中心としたクラスを設置する予定です。

**対象**：1～4年生

**実施日程**：4月から1月

**その他**：詳細は「2024年度法学部・法制研究所共催 予備試験対策答案練習講座実施要領」を参照してください。

#### 3-1 答案例で学ぼう(民法編)

**概要**：答案を初めて書きはじめる人のための入門編です。予備試験対策講座を受講する準備段階として、模範答案をもとに学習します。あらかじめ出題範囲が告知され、その範囲の中から出題される問題について実際に受講生は答案を書いていきます。問題は、条文の予定している事例をもとにしており、条文の基本的な理解が深まります。

**対象**：和泉研、駿河台研究室生

**実施日程**：4月から6、7月(週1回)

#### 3-2 事例検討(憲・民・刑編)

**概要**：法科大学院入試対策として事例問題を出题し、合格答案を作成できるようにすることを目標にします。少人数で実施し、実際に受講者は論文を作成し、弁護士指導員による添削を受け、受講生同士で互いの答案を検討します。

**対象**：3年生

**実施日程**：1回当たり2時間(憲法・民法・刑法を中心に出題)  
9月下旬から12月中旬まで

#### 3-3 法科大学院入試対策直前論文ゼミ

**概要**：法科大学院入試の対策を目標にした講座です。弁護士指導員または司法試験合格者が指導員となって、受講者のニーズに合わせて、少人数で答案を指導します。

**対象**：4年生、学部卒業生

**実施日程**：5月下旬から7月上旬まで(私・国公立で3回ずつ)

#### 4 個別指導(有料：500円(税込)／時間(1人))

**概要**：各自のレベルに合わせたきめ細やかな指導を行います。学力の向上を図ることを目的として、マンツーマンでの学習指導や受験相談を実施します。

**対象**：駿河台研究室生

**実施日程**：週2日程度(通年実施・平日のみ)  
1回1時間で月4回まで利用可(事前予約制)

**講座日程等は変更される場合があります。**  
上記のほか、受講者のニーズから、講師の企画によるゼミ等を実施する場合があります。各講座の申込時期等については、Oh-o! Meiji、メール及び掲示等で告知します。最新の情報は、法制研究所事務局までお問い合わせください。

### 室生特典

- 弁護士指導員・司法試験合格者指導員による企画講座を無料または割安で受講できます。
- 辰巳法律研究所との提携講座を割安で受講できます。
- 司法試験予備試験・予備試験短答式試験に合格した学部生及び司法試験合格者に対して報奨金を授与します(受験時かつ合格時に法制研究所に在籍など授与条件あり)。

## ■ 施設内容

- **談話室**  
猿楽町第1校舎4階にあります。館内での飲食は談話室のみ可能です。
- **ゼミ室**  
猿楽町第1校舎3・4階にあります。ここで各種ゼミが実施されます。また、自主ゼミを行うときに利用することができます。※利用するには法制研究所事務局にて予約が必要です。
- **自習室**  
猿楽町第1校舎に固定席制の自習室があります。※利用するためには年会費とは別に、席料が必要です。
- **図書**  
談話室には学習に必要とされる図書が用意されており、室生は自由に利用することができます。※新刊本は事務室に設置しています。  
※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため各施設の使用を制限する場合があります。

## ■ 地図



## Voice 室生の声

- 勉強仲間の輪を広げる場所として活用した。同期の仲間の存在はもちろん、先輩から聞いたリアルな受験体験や後輩の熱心な質問も刺激になった。
- 固定の自習席があるので、大量の教科書や問題集を持ち運ばずに勉強に専念できた。
- みんなが同じ目標に向かっていて、先輩方も親身に相談に応じてくれるので、勉強していく励みになった。
- 図書館が開いていない日や早く閉館する日でも利用でき、重い教科書類も置いておくことができる自習室で落ち着いた学習環境を確保でき有益であった。
- 司法試験合格者によるゼミを受講した。4名程度の少人数で行われるため、わからない点や法科大学院入試に関する質問があればすぐに聞くことができ、非常に有意義であった。
- 入試の情報はもちろんのこと、すでに法科大学院に通っている先輩から大学院の実態を聞けたり、予備試験を受験した人から情報を聞けたり、OB・OGの修習生・弁護士から法曹界の情報を頂くことができ、自分の進もうとしている道をきちんと把握できた。
- 身近にさまざまな本が揃っていて勉強しやすかった。
- 同じ目標を持つ人と知り合い刺激を受けられるし、情報を共有できる。



# 憲民刑入門講座

受講生の視点に立った親身で丁寧な指導  
———最初の講義だからこそ、経験豊富な最強の実力講師から学ぶ!

1時間当たりの受講料が、外部予備校と比べて、とてもリーズナブルなのは、本学の講座ならではの、  
明治大学 1～2年次入門講座 (憲・民・刑・商・民訴・刑訴・行政)

## ■ 研究者の書いた基本書を中心に初学者も無理なく学習できる入門講座。 正課授業の定期試験対策としても役立ちます。

カリキュラムは初学者を念頭に構成され、用語、法律の趣旨といった基礎概念から学習します。週2回の基本講義(インプット主体)で、基礎知識の獲得と定着を図ります。講座は、初学者でも安心して取り組めるように、初学者指導に実績ある講師のもと、教材、講座進行方法等、細部にいたるまで工夫を凝らしています。

法律書は最初なかなか分かりにくいものであり、読むのが嫌になってしまう人も多いのですが、本講座では初学者にも分かりやすい入門書や基本書\*をテキストとして、講師が分かりやすく説明していきます。講座が終わる頃には、独力で法律書を読み、基本的問題に解答できるようになることを目標とします。法学部のカリキュラムと並行して進みますので、無駄がなく、学習効果は抜群です。さらに、受講料も学内運営講座ならではのリーズナブルな設定となっており、学生の経済的負担を最小限にとどめます。



担当講師

担当科目：憲法・民法・刑法

辰巳専任講師 弁護士

天野 直樹 先生



### 概要

#### 講義時間

通常の講義：17:30~20:30  
新型コロナウイルス感染症の感染防止のためオンラインにて実施する場合があります。オンラインで実施する場合は別途お知らせいたします。

#### 講義の進め方

講義では、基本書や「新・スタンダードテキスト(P12)」を基本に、各科目の基本的・体系的理解を進める講義を行います。科目ごとにシラバスを配布し、シラバスには基本書と「新・スタンダードテキスト」の重点講義ポイントを明記します。演習として夏期Option講座もあります。詳しくはP14をご覧ください。

#### 基本書(使用教材)

※最新版を各自ご用意ください。

憲法：芦部 信喜『憲法』(岩波書店)  
民法：大村 敦志『新基本民法シリーズ』(有斐閣)  
刑法：山口 厚『刑法』(有斐閣)

#### ※「基本書」とは?

高校までと違って、大学での法律専門科目には、「検定教科書」はありません。膨大な種類・数の中からどんな本を読んで専門知識を得るかは各自の自由です。そこで、勉強の基本となる専門書で一定の水準以上のものを、基本書と呼んでいます。厳密な定義があるわけではありません。教科書と同じような意味です。それは研究者(主に大学教授)や実務家(弁護士)が書いた本であり、当該科目の全体を説明するものなので、概説書とも呼ばれます。初学者向けの「入門書」やQ&A形式の「演習書」、単一のテーマを研究した論文を書籍化した「専門書」と区別されることが多いのです。

### 対象者

法律家を目指す目指さないにかかわらず、勉強をはじめようという意欲ある1年生・2年生が主な対象です。法学部以外の学生も歓迎します。

### 実施会場

明治大学和泉キャンパス  
春学期(火曜日)第一校舎209教室 (木曜日)同001教室  
秋学期(火曜日・木曜日)第一校舎209教室  
※但し、都合により、時間・場所が変更となる場合がございます。

## 無料体験受講

4/11(木)の体験講義は、講座の申込みいかににかかわらず、すべての方が受講できます。お申込みを迷っている方はぜひ受講してみてください。

## ■ 憲民刑入門講座スケジュール (全日程 17:30~20:30)

講座	回数	講義日	曜日
無料体験受講	1	4月11日	木
民法	1	4月25日	木
	2	4月30日	火
	3	5月7日	火
	4	5月9日	木
	5	5月14日	火
	6	5月16日	木
	7	5月21日	火
	8	5月23日	木
	9	5月28日	火
	10	5月30日	木
刑法	11	6月4日	火
	12	6月6日	木
	13	6月11日	火
	14	6月13日	木
	15	6月18日	火
	16	6月20日	木
	17	6月25日	火
	18	6月27日	木
	19	7月2日	火
	20	7月4日	木
	21	7月9日	火
	22	7月11日	木

講座	回数	講義日	曜日
憲法	1	7月16日	火
	2	9月24日	火
	3	9月26日	木
	4	10月1日	火
	5	10月3日	木
	6	10月8日	火
	7	10月10日	木
	8	10月15日	火
	9	10月17日	木
	10	10月22日	火
刑法	1	10月24日	木
	2	10月29日	火
	3	11月7日	木
	4	11月12日	火
	5	11月14日	木
	6	11月19日	火
	7	11月21日	木
	8	11月26日	火
	9	11月28日	木
	10	12月3日	火
	11	12月5日	木
	12	12月10日	火
	13	12月12日	木
	14	12月17日	火
短答知識実力診断テスト		12月19日	木

### 受講料(税込)

1年生基本マスターセット 【憲民刑3科目セット+判例百選読み方講義(夏期講座①)+短答演習確認テスト(夏期講座②)】	¥88,000
憲民刑3科目セット	¥82,600
科目別	
民法	¥42,600
憲法	¥21,400
刑法	¥30,900
1年で法律7科目基本マスターセット 【1年生基本マスターセット+2年生基本マスターセット】	¥99,800

※セットでのお申込みがおすすめです。 ※「新・スタンダードテキスト」代込み、基本書代別。  
※1年で法律7科目基本マスターセットは憲民刑入門講座と商訴行政入門講座を同時に受講するコースです。(週4回)  
※上記の金額とは別に、入会費および年会費が必要です。

「1年で法律7科目基本マスターセット」は本校校友の渡邊建三氏及び容子氏からのご寄付により割引価格となっています。

## ■ 入門講座には積極的に学習を進めたい方のために、「夏期Option」が設定されています。

入門講座は、講義中心の講座であり、論文を書く力を養うために、数回の演習を別途「夏期Option」として用意してあります。演習といっても、受けやすいように、書き方についての講義を先に実施します。正課の授業ではありませんから、成績が残るわけではないので恐がらずに答案を書いてみてください。答案の書き方を覚えることは正課の定期試験対策としても、きっと役に立ちます。 **P14を参照**

## ■ 短答知識実力診断テスト(科目：憲法・民法・刑法)

辰巳 司法試験・短答知識実力診断テストを使用します。試験結果を分析し偏差値だけでなく詳細なデータが出ます。現時点での自分の実力や学習の進捗度合いを測るのにとても有効なテストです。

### ●解約について

受講申込後、解約の必要が生じた場合は、和泉研究室まで連絡してください。講座開始前の返金金額は、実際に支払った申込金額から、解約金¥5,000を差し引いた金額です。講座開始後の返金金額は、受講料から受講済部分に相当する受講料及び解約金¥5,000を差し引いた金額です。受講済部分に相当する受講料は、実際に支払った申込金額を基礎に全体回数のうち何回を受講したか(経過分)により算出します。

## バックアップ制度

法学学習支援・各種試験対策入門講座の受講生には、最新受験情報の提供をはじめ、さまざまな特典を用意しています。もちろんすべて無料。法曹を志望する明大生のためのアドバンテージです。

### 欠席してもだいじょうぶ!

### 欠席フォローサイトOPEN!

欠席してしまった講義は専用サイトからストリーミング視聴できます。他にも講義スケジュールやシラバスの確認、受験に関する最新情報を受け取ることができます。講義で配付したテキストやレジュメは和泉研究室でお受け取り下さい。

### 受講生へのきめ細かい対応

### 和泉研究室にスタッフ常駐

和泉研究室にはスタッフが常駐し、受講生への対応を行っています。当講座の申込手続や運営等に関する質問は窓口までお問い合わせください。



# 商訴行政入門講座

1時間当たりの受講料が、外部予備校と比べて、とてもリーズナブルなのは、本学の講座ならではの、  
明治大学 1～2年次入門講座 (憲・民・刑・商・民訴・刑訴・行政)

## ■ 実感の沸きにくい商法や訴訟法も実務体験を交えながら指導するので理解度がアップ! 行政法も一気に学習!学部講義と相乗効果が得られます。

1年目の憲民刑入門講座同様、カリキュラムは初学者向きに構成され、学習支援・各種試験対策という目的に沿った基本的内容の授業が展開されます。商法や訴訟法といった科目は、技術的な面が強く、なかなか具体例を実感できないものですが、本講座では憲民刑入門講座同様、実務経験のある講師が講義をすることで学部講義とはひと

味違った、実務の体験談等を踏まえた臨場感を感じることができるよう。加えて、これも取っつきにくいといわれる行政法を短時間で一通り講義しますので、学部講義に取り組む際、理解度はアップするはず。将来、司法試験予備試験や法科大学院進学を目指す方にとっては、この2年目入門講座に配置された科目をしっかり学習することで他者に大きく差を付けることができるでしょう。



担当講師

担当科目：商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法

辰巳専任講師 弁護士  
本多 諭 先生

### 概要

#### 講義時間

通常の講義：17:30～20:30  
新型コロナウイルス感染症の感染防止のためオンラインにて実施する場合があります。オンラインで実施する場合は別途お知らせいたします。

#### 講義の進め方

講義では、基本書や「新・スタンダードテキスト」をベースに、各科目の基本的・体系的理解を進める講義を行います。科目ごとにシラバスを配布し、シラバスには基本書と「新・スタンダードテキスト」の重要ポイントを明記します。演習として「夏期Option講座」もあります。詳しくはP14をご覧ください。

#### 基本書(使用教材)

※最新版を各自ご用意ください。

商法(会社法)：高橋美加ほか『会社法』(弘文堂)  
民事訴訟法：和田吉弘『基礎からわかる民事訴訟法』(有斐閣)  
刑事訴訟法：宇藤崇ほか『リーガルクエスト刑事訴訟法』(有斐閣)  
行政法：桜井敬子・橋本博之『行政法』(弘文堂)

#### ●参考書(新・スタンダードテキスト)

入門講座だけでなく、法科大学院入試や基礎学力強化のために使用できるテキストです。初学者のうちは、学習項目の中で何が重要か判断することができないものですが、本テキストを見れば一目瞭然、重要な部分を中心に書かれています。聴講することを前提に、重要ポイントをノートのように記していますので、別に自分のノートを書き取る手間がかからず、講義に集中できます。基本書を読んで講義に臨み、スタンダードテキストで復習・まとめをすれば完璧です。

### 対象者

1年目の入門講座で憲法・民法・刑法の基礎知識を身につけた2年生が主な対象ですが、1年生の時に独学した方や、法学部以外の学生も歓迎します。

### 実施会場

明治大学和泉キャンパス  
春学期・秋学期  
(水曜日) 第一校舎209教室 (金曜日) 同208教室  
※但し、都合により、時間・場所が変更となる場合がございます。

## 無料体験受講

4/12(金)の体験講義は、講座の申込みいかにかわらず、すべての方が受講できます。お申込みを迷っている方はぜひ受講してみてください。

## ■ 商訴行政入門講座スケジュール (全日程 17:30～20:30)

講座	回数	講義日	曜日
無料体験受講	1	4月12日	金
商法	1	4月26日	金
	2	5月8日	水
	3	5月10日	金
	4	5月15日	水
	5	5月17日	金
	6	5月22日	水
	7	5月24日	金
	8	5月29日	水
	9	5月31日	金
	10	6月5日	水
	11	6月7日	金
	12	6月12日	水
	13	6月14日	金
	14	6月19日	水
民事訴訟法	1	6月21日	金
	2	6月26日	水
	3	6月28日	金
	4	7月3日	水
	5	7月5日	金
	6	7月10日	水
	7	7月12日	金
	8	7月17日	水
	9	7月19日	金
	10	9月20日	金
	11	9月25日	水
	12	9月27日	金

講座	回数	講義日	曜日
刑事訴訟法	1	10月2日	水
	2	10月4日	金
	3	10月9日	水
	4	10月11日	金
	5	10月16日	水
	6	10月18日	金
	7	10月23日	水
	8	10月25日	金
	9	10月30日	水
	10	11月8日	金
	11	11月13日	水
	12	11月15日	金
行政法	1	11月20日	水
	2	11月22日	金
	3	11月27日	水
	4	11月29日	金
	5	12月4日	水
	6	12月6日	金
	7	12月11日	水
	8	12月13日	金
	9	12月18日	水
短答知識実力診断テスト		12月20日	金

(2022年度よりも行政法が3回増加しています。)

### 受講料 (税込)

#### 〈2023年度「憲民刑入門講座」未受講者〉

2年生基本マスターセット 【商訴行政4科目セット+憲民刑基本3科目ミニ答練(夏期講座③)】	¥80,600
商訴行政4科目セット	¥78,800
科目別	
商法	¥30,600
民事訴訟法	¥24,300
刑事訴訟法	¥24,300
行政法	¥17,800
1年で法律7科目基本マスターセット(★) 【1年生基本マスターセット+2年生基本マスターセット】	¥99,800

#### 〈2023年度「憲民刑入門講座」受講者(★)〉

対象者にはOh-o! Meijiシステムにて連絡します。

2年生基本マスターセット	¥11,800
商訴行政4科目セット	¥10,000
科目別	¥5,000
1年で法律7科目基本マスターセット	¥99,800

※セットでのお申込みがおすすめです。 ※「新・スタンダードテキスト」代込み、基本書代別。  
※1年で法律7科目基本マスターセットは憲民刑入門講座と商訴行政入門講座を同時に受講するコースです。(週4回)  
※上記の金額とは別に、入会費および年会費が必要です。

★本校校友の渡邊建三氏及び谷子氏からのご寄付により割引価格となっています。

## ■ 入門講座には積極的に学習を進めたい方のために、「夏期Option」が設定されています。

入門講座は、講義中心の講座であり、論文を書く力を養うために、数回の演習を別途「夏期Option」として用意してあります。演習といっても、受けやすいように、書き方についての講義を先に実施します。正課の授業ではありませんから、成績が残る

わけではないので恐れずに答案を書いてみてください。答案の書き方を覚えることは正課の定期試験対策としても、きっと役に立つはず。 **P14を参照**

## ■ 短答知識実力診断テスト

(科目：商法・民事訴訟法・刑事訴訟法・行政法)  
辰巳 司法試験・短答知識実力診断テストを使用します。試験結果を分析し偏差値だけでなく詳細なデータが出ます。現時点での自分の実力や学習の進捗度合いを測るのにとても有効なテストです。

### ●解約について

受講申込後、解約の必要が生じた場合は、和泉研究室まで連絡してください。講座開始前の返金金額は、実際に支払った申込金額から、解約金¥5,000を差し引いた金額です。講座開始後の返金金額は、受講料から受講済部分に相当する受講料及び解約金¥5,000を差し引いた金額です。受講済部分に相当する受講料は、実際に支払った申込金額を基礎に全体回数のうち何回を受講したか(経過分)により算出します。

### バックアップ制度

法学学習支援・各種試験対策入門講座の受講生には、最新受験情報の提供をはじめ、さまざまな特典を用意しています。もちろんすべて無料。法曹を志望する明大生のためのアドバンテージです。

### 欠席してもだいじょうぶ! 欠席フォローサイトOPEN!

欠席してしまった講義は専用サイトからストリーミング視聴できます。他にも講義スケジュールやシラバスの確認、受験に関する最新情報を受け取ることができます。講義で配付したテキストやレジュメは和泉研究室でお受け取り下さい。

### 受講生へのきめ細かい対応 和泉研究室にスタッフ常駐

和泉研究室にはスタッフが常駐し、受講生への対応を行っています。当講座の申込手続や運営等に関する質問は窓口までお問い合わせください。



夏期休暇期間中は、通常の講義もお休みとなります。しかし、やる気のある学生のために、法律学習をより身近にする夏期集中プログラムを以下のように準備しました。夏休み中に実力を伸ばしましょう!

- ※1年生基本マスターセット(P11)には、下記①②を含みます。
- ※2年生基本マスターセット(P13)には、下記③3科目一括を含みます。
- ※都合により教室が変更となる場合がございます。
- ※いずれも税込の受講料です。
- ※新型コロナウイルス感染症の感染防止のためオンラインで実施する場合があります。  
オンラインで実施する場合は別途お知らせいたします。

## ①「判例百選」読み方講義 (科目:民法) 第一校舎 001番教室

判例学習の定番図書である「民法判例百選I」(有斐閣)をテキストとして、その中でも重要な判例を講師とともに読んでみましょう。判例についての学習は、法律学習の中でも大きなウエイトを占めていますが、この講義で判例百選の読み方を身につければ、独力での判例学習が苦にならなくなるはずです。

回数	講義日	曜日	時間	受講料	講師	備考
1	9月 2日	月	10:00~13:00	¥5,300 (テキスト代別)	天野直樹先生	全6時間(3時間×2日間)
2	9月 3日	火	10:00~13:00			

## ②短答演習確認テスト (科目:民法) 第一校舎 001番教室

司法試験、司法試験予備試験、法科大学院入試、そして公務員試験、司法書士試験等々、法律のテストといえば短答試験が付きものです。法律学習の比較的初期から短答試験を体験して、「あやふやな知識」では短答が解けない、ということを体験してください。正確な知識こそが短答試験には必要であり、そのことに気づけば、普段の法律学習でもしっかり記憶すべきことは何か、を意識できるようになるでしょう。

回数	実施日	曜日	時間	受講料	講師	備考
1	9月 5日	木	10:00~13:00	¥3,200	天野直樹先生	全3時間(試験40分 解説講義2時間20分)

## ③憲民刑 基本3科目ミニ答練 第一校舎 001番教室

「答練」とは、時間を測って法律答案を書く練習をすることです。法律を学習して間もない頃は、「まだ知識がないから(ちゃんと本を読んで記憶すべきものを記憶していないから)、答案は書けないや(将来にしよう)」と考える人が多いのですが、資格試験等を目指していない人でも、学部試験は必ず来ます。法律答案の形は、早めに身につけておきましょう。この答練では、最初に講師が30分の講義を行い、何が聞かれているか、先に知識を与えます。その後で1時間で答案を書いてみましょう。知識があっても、制限時間内に答案として読み手に分かりやすい文章で書くことがいかに難しいかが体験できます。答案は添削して返却します。短答と同じように、答案を書く経験をすることで普段の学習で何を書けるようになるべきか、意識できるようになるでしょう。

回数	実施日	曜日	時間	内容	受講料	講師	備考
1	9月10日	火	10:00~12:30	民法	¥9,600 3科目一括	天野直樹先生	各科目2時間30分 (事前講義30分 答練1時間 解説講義1時間)
2	9月12日	木	10:00~12:30	憲法			
3	9月12日	木	13:30~16:00	刑法			

※科目別申込1科目¥3,200



## 弁護士 千葉 智達 (ちば ともよし) さん

出身大学 明治大学 / 法学部法律学科 / 2020年卒業

### 法制研究所の活用法とメリット

法制研究所においては、司法試験予備校の辰巳法律研究所と提携した講義や司法試験に向けた基礎演習等のゼミを受けることができるほか、個人で勉強したい際には自習室を利用することができます。私も学生のときにこれらを上手く活用し、在学中に予備試験、司法試験に合格することができました。基礎演習等のゼミや辰巳法律研究所との提携講義では、憲法・民法・刑法といった司法試験や学部試験において必修である法律について、法律の構造や内容などの基礎的な内容や実際の適用例などを学ぶことができます。法律はとても勉強が難しいですが、ここでは弁護士が基礎からわかりやすく説明してくれるので、司法試験の合格を目指したいと考えている人だけでなく、学部で良い成績を取りたいと考えている人や純粋に法律を勉強したいと考えている人などにも、貴重な場になると思います。また、法制研究所で利用できる自習室は、法律試験の問題集等を借りることができるなど、勉強するのに良い環境が整っています。このように、法制研究所においては、勉強をする上で必要なものが整っているので、法律試験の勉強をしたいと考えているのであれば、活用を検討してみたいと思います。

### 現在の仕事について

私は、司法試験合格後に司法修習の期間を経て、大学を卒業した年の12月より、都内の事務所にて弁護士として働いています。扱っている内容としては、離婚や相続などの家事事件や、借家トラブルや交通事故などの一般民事事件、企業の契約書チェックなど幅広い内容を扱っています。この仕事は、民法以外にも様々な法律が問題となるため、必要となる法律等の知識の範囲が広範であり、勉強が大変ですが、その分、様々な知識を身につけることができ、また、得られる達成感も大きくなります。また、隣人トラブルに悩まされている、家族関係で悩んでいる、この契約内容で不利にならないか心配であるといった、法的な問題で困っている様々な人の手助けをすることができ、非常にやりがいを感じられる仕事です。その他にも、この仕事には、自身がトラブルに巻き込まれた際にも対応の仕方がわかるといった実益があったり、働き方の面でも柔軟に対応できたりするなど、様々な魅力があります。ここでは全てをあげることはできませんが、弁護士という仕事は、試験が大変ではあるものの、目指してみる価値は十分ある仕事だと思いますので、司法試験を目指すか少しでも迷っている場合には、まずは勉強を始めてみると良いと思います。

## 弁護士 笠原 菜摘 (かさはら なつみ) さん

出身大学 明治大学 / 法学部法律学科 / 2018年早期卒業 出身法科大学院 明治大学専門職大学院法務研究科(法科大学院) / 2020年修了

### 法制研究所の活用法とメリット

私は、入学当初、漠然と敷居が高いような感覚から法曹を志望するか決めかねていました。しかし、何もしないよりは良いだろうと考え、入門講座を受講することにしました。入門講座は、予備校と提携した弁護士による講義なので、論証を意識した解説を受けることができますし、実際に予備校へ通わずとも、受験勉強の雰囲気を感じることができました。また、講義の内容や使用する教材は大学の授業の予習・復習にも大いに役立つ、学部の成績にも良い影響がありました。3年時は、大学院進学に向けて、弁護士指導員による答練を受講しました。定期試験以外に答案を書く機会がなかった私は、出来の悪い答案を何通も提出していましたが、弁護士指導員の先生は、各受講生のレベルに合わせた解説や答案添削をしてくださるので、答案の型や作法を少しずつ習得することができました。早期合格を目指して受験勉強を始めたい人にももちろん、私のように、法曹を志望するか悩んでいる人にも、後悔のないよう前向きに法制研究所の活用を検討してほしいと思います。

### 現在の仕事について

私は、現在、千葉県内の法律事務所に勤務しています。業務としては、少年事件や裁判員裁判対象事件を含む刑事事件や離婚、相続等の家事事件、その他一般民事事件を扱っており、特徴的な業務としては、医療過誤事件も取り扱うことがあります。弁護士登録をして約2年になりますが、法制度はもちろん、関係者とのコミュニケーションの取り方や一つの事件への見方や考え方の違い等、毎日ありとあらゆる新しい学びがあります。壁にぶつかることもたくさんありますが、新鮮な気持ちで、かつ各々が創意工夫をして自由に仕事ができることは、他にはない法曹の魅力だと感じます。また、明治大学専門職大学院法務研究科に補助講師として所属しており、受験指導にも当たっています。司法試験は、合格に向けた勉強を積み重ねていけば合格できる試験です。法制研究所の指導員や補助講師は、受験生の勉強の方向性を合格に向けて導く役割を担っていますので、勉強方法も含めて気軽に相談できる環境に身を置くことが、合格への近道だと思います。実務は、司法試験や司法修習を経ただけでは分からないことばかりですので、その度に文献を読み、先輩に学び、日々仕事をしています。受験生の頃と同様、日々実直に勉強をしながら職務に当たることが大切だと感じます。法制研究所に入る人にはそのような素質があると思いますから、まずは司法試験の合格に向けて頑張ってくださいね。

※メッセージ文中にある講座名称・内容は、OB・OGが在学中に受講した当時のもので、現在と異なる場合があります。



# 和泉研究室 室生からのメッセージ

## 齊藤 さんご (さいとう さんご) 法学部法律学科 法曹コース

### 和泉研究室に入室した理由は？

将来の夢が検察官か裁判官になることなので、法律について学べる和泉研究室に興味を持ち入室しました。学校の授業以外でも法律を学ぶことができ、二年生で習う内容を先取りして学べることに魅力的に感じました。

### 利用した内容(講座名・講義名・指導名)とそれについての感想

憲民刑入門講座を受講しました。一年生が学校の授業で習う三法(憲法、民法、刑法)を学ぶことができ、二年生で詳しく習うような登記等についても軽く触れて説明してくれました。授業が進むペースは学校の授業と比べると早く、予習のため読む必要のある参考書のページ数も多いのですが、説明が分かりやすいのでついていくことができました。また、授業の内容を完全に理解できなくても、一年生の段階では法律の学び方や習う内容のイメージを掴むことが大切だと先生がおっしゃっていたため、安心して授業を受けることができました。

### 入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか？

授業後に予習・復習箇所を指定してくれるので、勉強を習慣化してできるようになりました。また、憲民刑入門講座の授業は3時間なので、体力と集中力がつきました。学校で習う三法の授業内容と入門講座の授業内容が重なっている時は、復習を兼ねて受講することができたので、知識の定着がしやすくなり、より理解を深めることができました。特に、自分は勉強しようと思っただけでも実際には中々実行に移せないタイプなので、決まった時間に授業をしてくれる入門講座が本当にありがたかったです。

### 和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ちましたか？

勉強するために整えられた環境がやはり和泉研究室の魅力だと思います。自習室は静かで集中できる空間であり、同じ目標を持って勉強する人たちもいるので、お互いに高いモチベーションを維持しながら勉強できます。また、和泉研究室に入室すると自分専用のロッカーが貰えるので、持ち運ぶには重い六法等を置いておくことができ便利です。勉強で分からないことがあったら、入門講座を担当されている弁護士の方の天野先生に気軽に質問に行けることも利点だと思います。

### 将来の目標や目指す進路は？

今の所は検察官を目指しているので、法科大学院に進むと思います。ただ、企業の法務部にも興味を持っているので、これからの大学生活の中でゆっくり決めていきたいと思っています。

## 橋本 健太 (はしもと けんた) 法学部法律学科 公共法務コース

### 和泉研究室に入室した理由は？

大学に入学して、これから始まる新生活に胸が弾むと同時に抱いていたのが、勉強についていけるだろうかといった不安感でした。そんな時に出会ったのが法制研究所でした。大学の講義に先行して三法の講義が受けられることに魅力を感じ、余裕を持って大学生活を送りたかったので入室しました。

### 利用した内容(講座名・講義名・指導名)とそれについての感想

天野先生による、憲民刑入門講座を受講しました。この講座では、一年を通して、三法を効率的に一周することが出来ます。明治大学法学部のカリキュラム通りに三法を学ぼうとすると、一年では到底網羅することが出来ない膨大な内容を、当講座では、先生が重要な部分を掻い摘んで、初学者でも分かりやすく解説して下さいます。受講したての頃は、授業の進度に置いていくことだけで精一杯になるかもしれませんが、予習復習範囲を提示していただけるので、自学よりも効率良く学習出来ます。司法試験合格を達成するために無駄無く効率的に学びたい方、定期考査で躓きたくない、失敗したくないという方には最適な講座だと思います。

### 入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか？

入室したことによって、法律を学ぶことに対する不安感を無くすことが出来ました。法学部に入り始めの頃は、「法律をどうやって勉強すれば良いか分からない」、「自分が法律なんて理解出来るか心配だ」と感じの方が少なからずいらっしゃいます。私もその内の一人だったのですが、法制研の講座によって、法律を勉強するサイクル

を確立することが出来ましたし、共に勉強する、高い目標を持つ仲間にも出会えました。今では、不安感というのはすっかり無くなり、仲間と切磋琢磨し合いながら、法律を学ぶことが出来ています。現在、大学生活を純粋に楽しめているのは、法制研に入室したからと言って過言ではないと思います。

### 和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ちましたか？

法制研の魅力は大きく分けて三つあると思います。一つ目は一緒に学習する仲間が出来ることです。法学は難しいため、一人でやろうとすると時間がかかり、挫折もしやすいです。しかし、仲間と勉強することで、互いに教え合って理解を深めることができ、モチベーションの維持にもなりました。二つ目は環境です。法制研に入室すると室生専用の自習室や、自分専用のロッカーを持つことが出来ます。静かな環境で勉強できるスペースがあるのは、非常に有り難かったですし、ロッカーは大学で使う教材を置いておけるので便利です。三つ目は良心的な価格です。法制研に似た外部の予備校は確かにありますが、ここまでリーズナブルに入会出来るところは他に無いと思います。私が入室を迷わずに決められたのも、この価格設定があったからです。

### 将来の目標や目指す進路は？

私は、入室する以前は特に決まった目標や進路が無かったのですが、現在では、法律を扱う公務員に興味を持っています。入室して、将来の夢を持つ熱心な仲間と巡り合えたことが、自分の将来像を考えるきっかけになりました。

## 佐々木 晴徳 (ささき はるのり) 法学部法律学科 法曹コース

### 和泉研究室に入室した理由は？

大学入学前から法学という分野には、高校における公民などの分野で憲法について触れていたことから、少なからず興味を抱いていました。新入生ガイダンスにて法制研究所の紹介を受け、どうせなら有意義な大学生活にしたいという思いもあり、入室を決めました。

### 利用した内容(講座名・講義名・指導名)とそれについての感想

憲民刑入門講座を受講しました。内容は六法の憲法、民法、刑法の3法を一年間で重要部分のみ終わらせるというのですが、これを通して入門程度の法律の知識はついたように思われます。法律を学ぶというのは私たちが含め法学部新入生にとって未知の分野に触れることと同義でした。入学してからの勉強において、当然高校までの知識が殆ど役に立たなくなり(憲法は公民の分野と被る点が少々ありますが、民法・刑法は殆どの方が触れたことのないものだったと思います)、勉強の仕方すらも暗中模索の状態になります。法制研究所の講座はそうした法学初心者役に役立つ内容となっていました。私自身よく助けられました。

### 入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか？

勉強に対するモチベーション、後述の将来の目標に対して邁進しようという意欲が最も刺激されたように感じています。法制研の講座は火曜日・木曜日の夜遅くまで開かれています。他の学生が居ない大学に残り講座を受講するというのは中々大変

なことです。実際に最初期に講座を受講していた人の多くが途中でリタイアしてしまいました。しかしそうした状況下でも一緒に講座を受講している、同じ夢を追い求める仲間がいるんだという意識、それが勉強に対する意欲に繋がりました。

### 和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ちましたか？

和泉研究室で一番役に立ったのは、法の勉強に関する参考書・資料を豊富に揃えており、それをほぼ四六時中利用することが出来ることです。法律分野の勉強というのは、これは大学という場の勉強全てにおいて言えることかもしれませんが、教科書一つを熟読してそれで十分という訳には行かず、複数の資料を同時に読み比べるなどして自分なりの正解を出すことが求められます。例えば大学のレポート一つ書くにしても、学者の〇〇先生の資料と△△先生の資料二つを読み比べて、〇〇先生の方が正しそうだ、と取捨選択しなくてはならないのです。そうした環境下において和泉研究室にある豊富な資料は特に役に立ったと感じています。

### 将来の目標や目指す進路は？

法科大学院進学、ひいては弁護士を目指しています。法律というのは、私たちの生活上「やってはいけないこと」を定めています。つまり法律を知っているのは我々の生活の枠組みを知ることに繋がります。弁護士というのはその枠組みから溢れた人や事を修正しようとする職業であり、非常に誇り高い仕事なのではないでしょうか。

## 山本 剛生 (やまもと たけき) 法学部法律学科 法曹コース

### 和泉研究室に入室した理由は？

小学生の時から、法曹を目指して、入学後すぐに法制研究所のことを知り、手厚いサポートやバックアップがあることを知って、自分にとって大いにプラスになると思ったので、入室することにしました。

### 利用した内容(講座名・講義名・指導名)とそれについての感想

天野直樹先生の憲民刑入門講座を受講しました。この講座では、初学者である自分達にわかりやすく、またこれらの法律の本質もしっかりと教えてくれて、ものすごく理解がスムーズにいきました。勉強の中で、一番重要な基礎固めをしっかり行うことが出来ました。最初はペースがかなりはやく、戸惑うことも多々ありましたが、徐々に自分のペースをつかめるようになり、とても充実したものとなりました。司法試験に向けての第一歩を踏み出せたと思います。

### 入室してから自分自身に変化や成長を感じましたか？

法律の正しい勉強の仕方を習得したことが、一番の成長だと感じています。自分は高校生の時に、最初のスタート時点で躓いた苦い経験があるので、ここで躓かずにスタートをきれたことは一番大きかったと思います。明後日の方向に努力しても時間だけが過ぎて、無駄な時間を使ってしまうだけになってしまいます。肝心な部分で躓かなかったことは法制研究所に入って一番良かったと感じています。

### 和泉研究室の魅力や思い出を。とくに、どのように活用し、役に立ちましたか？

朝早くから夜遅くまで開放されている自習室は和泉研究室の魅力の一つです。入門

講座の勉強だけでなく、日々学校で出される課題やテスト勉強もやれるので最高の環境だと思います。図書館や大学の建物の中よりも静かに勉強することが出来ます。また支給されるロッカーの中に学習に必要な荷物を入れたりすることが出来るので、勉強だけでなく、学校生活もより快適に過ごすことが出来ます。

### 将来の目標や目指す進路は？

弁護士を目指しています。そのために今は試験のための準備に精をだしています。

## 運営委員って？

辰巳法律研究所と提携している入門講座の運営補助を中心に、法制研究所が主催する各種講座・行事等の運営補助や、和泉研究室に設置された自習室等の片づけ等を分担、協力して行います。運営委員は1年生6名、2年生5名ずついます。運営委員となるからには勉学に励むことはもちろん、他の室生の模範となるよう期待しています。

## ～2023年度運営委員から新入生へ～

## 中島 まつり (なかしま まつり) 法学部法律学科 国際関係法コース

私は大学入学時のガイダンスで法制研究所の存在を知り、予備校や通信講座等に比べてリーズナブルな価格で、かつ大学キャンパス内で受講できるという点に魅力を感じたため、法制研究所に入室することを決めました。運営委員の仕事は主に、入門講座をオンデマンドで受講する室生に配信するためにビデオカメラで録画をすることと、対面で受講する室生にレジュメや解説プリントを配布することです。学期末には、法律の知識の定着度を測る短答知識テストの準備を行うこともあります。運営委員は原則、入門講座の授業に毎回出席することになっているので、大学の授業にプラスして法律の勉強に取り組む勉強習慣が自然と身に付きます。大学の授業だけでは不安が残るという方、法曹を目指してより高度なレベルで学びたいという方は是非、法制研究所に足を運んでみてください。

運営委員に興味を持った方は、ぜひお気軽に和泉研究室までお越しください。(募集の詳細は、ガイダンス期間中にお知らせします。)

## 古田 圭宏 (ふるた よしひろ) 法学部法律学科 法曹コース

私は将来検察官になるという目標を持って入学しました。その時、先に一通り憲法・民法・刑法が学べると、法制研のパンフレットに書いてあったため、講座を取ることにしました。また、自習室や学習教材の貸出など、設備やシステムが充実しており、自分のロッカーを持てるという点も決め手の一つになりました。法制研でできた仲間は同じ志を持つ人が多く、すぐ仲良くなれると思います。私は、クラスでは気を遣ってあまり法律の話題などは話さなかったのですが、法制研で同じ道を目指す仲間を作れたことで、法律の討議もでき、充実した生活を送ることができています。運営委員になると、主に仕事は授業の準備や後片付けをしますが、それほど時間がかかることもなく、負担ではないと思います。ただし、運営委員は毎回授業に出席しなくてはならないので、他の部活やサークルとの併用は厳しいかなと思います。最後に、日にちや時間に多少縛られるかもしれませんが、同じ目標を持つ仲間と充実した大学生活が送れることは保証します。ぜひ頑張ってください。



# 法制研究所 入会手続

(入室試験は実施しません)



## 諸費用

入会費 **入会初年度のみ ¥10,186** (税抜 9,260円)

年会費 **1・2年生 ¥5,093** (税抜 4,630円)

**※法学部在生には所属学部より年間上限15,000円、**

**政治経済学部在生には所属学部より年間上限20,000円の助成があります。**

上記以外の学部においても助成対象になる場合がありますので、所属学部事務室にお問い合わせください。申請は入会手続後、所属学部事務室にて取り扱います。

※振込受領書の原本が申請に必要となります。

### 受講希望者のみ

憲民刑入門講座 (憲民刑3科目セットの場合) **¥82,600(税込)** を下記の口座にお振込みください。

※講座受講料と併せて、入会費(入会初年度のみ)と年会費をお振込みください。

※その他の講座受講料は、講座受講料欄(本パンフレットP11・13・14)を参照。

## 振込手続

銀行名 **みずほ銀行 神田支店**      口座番号 **普通預金 1104480**

口座名 **学校法人明治大学 国家試験指導センター**

**注意** 氏名の前に必ず「HA24」を記載してください。      **記載例** HA24メイジ タロウ

## 申し込み事務手続

諸事情により、右記日程に申し込み手続が困難な学生は和泉研究室事務室へお問い合わせください。

法学部1年生

〈1〉  
必要書類・  
事務手続

法学部1年生

他学部生  
法学部2年生

以下①、②の手順でお申し込みください。

① 銀行振込時に受け取った振込受領書の画像を、Oh-o! Meijiの「グループ」→「法学部1年生」の「提出物」にある「法制研振込明細データ提出BOX」→「ファイルを選択」をクリックして画像を添付して送信してください。  
(注)残高、個人情報は塗りつぶすこと

② 事務手続については、Oh-o! Meiji内のアンケート機能を利用して申込期間内に送信・申込みをしてください。  
Oh-o! Meijiログイン後、「グループ」→「法学部1年生」→「アンケート」にある「2023 法制研究所入室申込みフォーム」から入力し送信してください。

和泉研究室事務室までお問い合わせください。

※2023年度の憲民刑入門講座受講生にはOh-o! Meijiシステムにて別途お知らせします。

〈2〉  
申込期間

【対象】 継続者を含む全ての学生  
【日程】 4月4日(木)～18日(木)〈必着〉

[個人情報の取り扱い] 提出・送信いただいた個人情報は、本学「個人情報の保護に関する規程」に基づいて適切に取扱います。こちらの情報は法制研究所における講座運営のために利用します。予めご了承ください。

## ● 申込手続、運営等についてのお問い合わせ

# 明治大学国家試験指導センター法制研究所

[https://www.meiji.ac.jp/netsc/legal\\_lab/index.html](https://www.meiji.ac.jp/netsc/legal_lab/index.html)



和泉研究室

〒168-8555  
東京都杉並区永福1-9-1  
明治大学リエゾン棟2階  
【開室時間】 月～金曜日 9:30～17:30

駿河台研究室

〒101-8301  
東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学猿楽町第1校舎1階  
【開室時間】 月～金曜日 9:30～17:30  
土曜日 9:30～13:00

